

## 平成26年度事業計画書の変更

### 1 役員報酬の復活

当初予算のゼロから、大石理事長が常勤理事になったことから、理事長の報酬として年額276万円の6月分138万円（月額23万円）を復活する。また、理事長の通勤定期、事業活動交通費の旅費交通費を計上する。

### 2 タンザニア・モデル造林事業（タンザニア環境行動協会）

助成金を当初予算の1万5千ドルから1万ドル増額し2万5千ドルと前年度通りにするとともに、職員の現地調査・視察を当初予算の年1回から前年度通りの2回とする。

### 3 理事会及び評議員会の交流促進

業務を遂行する理事会の議論が理事会の運営をチェックする評議員会に十分伝えられていないとの批判など意思疎通が図られていないので、当基金の業務などの円滑化を図る観点から、合同会議などの相互交流を図り、公益財団法人としての基金活動への一体化を進める。このため年2回の合同会議を開くこととし、本年度は半年分の1回を計上する。

### 4 理事会及び評議員会の活性化

当初予算では、理事会及び評議員会の会議を年6回と考えていたがすでに消化しているため、両者の活性化を図るため会議を6回増やし、計12回とする。